

「公共」の授業デザイン ー ICT 活用や時事の扱い方を中心としてー

神奈川県立希望ヶ丘高等学校教諭

張江 雄司

1. はじめに

教職に就いて以降、授業では、学習指導要領を踏まえつつ、特に、生徒が以下の三点を身に付けることを目標として試行錯誤を繰り返してきた。

- ① 自身の意見を論理的に表現できる
- ② 人それぞれ多様な意見を持っており、意見が異なるからといってどちらかが間違っているということではないことを理解する
- ③ 教科書の内容とニュース（時事）が繋がっていることを理解し、関連付けて思考できる

小論では、上記目標達成に向けて実践した2023年度における2学年「公共」の取組を、ICT活用及び時事の扱い方に絞って紹介する。読んで頂いた方が、取組の内容を具体的にイメージでき、かつ、取組の結果どのようなメリットがあるのかを理解頂けるようできる限り意識して記した。拙い文章だが、先生方に何か少しでも参考になると幸いです。

2. ICTの活用について

(1) 生徒が使うのは、紙か、PCか、紙とPCか

本校では、当該学年から1人1台PCとなり、授業中に生徒がPCを使用することが容易となった。ただし、研修の場や関連図書において、「ICTを使うことが目的となつてはいけない」と言われることは多く、私もその点同感である。目的や場面によって、その都度紙とPCどちらが最適かを考えることは重要である。

たしかに、PCを用いた活動では、主に以下のようなデメリットがあると感じる。

- ① タッチペンがない状況では、資料への書き込みができない（やりにくい）
- ② メモ書きやアイデア出しといった活動は手書きよりも進捗が悪い
- ③ キーボード入力は手書きよりも記憶の定着が悪い
しかし一方で、紙とPCを併用することによって、以下のようなデメリットが生じることは見落とされがちのように感じる。

- ① 机上スペースの都合上、紙とPC両方置くと生徒の作業効率が落ちる。また、不快に感じて勉強に集中しづらい。
- ② 部分的にPCを使うことで、生徒はその都度電源を入れたりと準備に時間を要する。
- ③ PCの使用頻度が落ちると生徒のPC忘れが増える。
- ④ 教員にとって、紙とデジタル双方の教材を用意するのは教材準備の負担が大きい。

こうしたことから、紙を使用しないデメリットと、紙とPCを併用するデメリットの双方を勘案した結果、当該年度の公共は、原則として紙は使用せずにPCのみで授業を進行することとした。

(2) 具体的な活用方法

小論では、毎授業ルーティンとして活用する方法に絞り、以下に紹介する。

① 授業スライドの作成

授業回毎にPowerPointで授業スライドを作成し、授業中はプロジェクターで投影して進行する。これは当該年度から始めたことであるが、想定以上に多くのメリットがあった。

1点目は、授業進度・深度が上がる点である。感覚的には、板書していた際の約1.5倍の情報量を扱うことができた。これにより、小論文や課題探究といった授業期間を設けても、教科書全体の内容を概ねカバーすることが可能となった。

2点目は、授業のクオリティが安定する点である。事前に授業のストーリーをスライドに落とし込む必要があるため、一定レベルの授業準備が強制される。また、ストーリーが決まっているため授業中に迷子になることもない。そのため、こちらの準備不足・力不足で生徒に迷惑かける回数が減少したと感じる。

3点目は、他の教員にも共有しやすい点である。当該年度は、地理歴史科専門の教員とも一緒に「公共」を担当したが、スライドを共有しつつ週1回の打合せを実施したところ、当該教員の授業準備の負担が軽減されるとともに、生徒の反応が良かったと

の声を頂くことができた。公共は、地歴歴史科専門の教員も担当することの多い科目だと思うので、このメリットは大きいと感じる。

② 授業 HP の作成

資料1にあるとおり、Google Sites を活用して公共の授業 HP を作成し、そこに授業関連資料（授業スライド等）を全て掲載した。



資料1 公共の授業 HP

多くの生徒は、授業 HP から当該授業回のスライドを開いた状態で授業に臨んでいる。そうすることで、授業中生徒に「問い」を投げかけた際、プロジェクターでは問いを投影しつつ、生徒は自身の PC で当該授業のスライドを閲覧・復習し問いへの意見を考える材料とできる。また、後述の「振り返りシート」を記入する際にも、自身の PC で授業スライドの閲覧・復習が可能となる。

この他、授業 HP があることで、スクリーンの文字が見えにくい生徒にも対応可能になるとともに、欠席者に対し、「HP から学ぶ」よう伝えるという対応で良い（プリント配付など別途の対応が不要）ため、教員の負担軽減・授業時間の有効活用にも繋がる。

なお、本校では、各生徒も Google Sites を用いて各教科・科目での成果物や振り返りを掲載する「デジタルポートフォリオ」の取組が順次スタートしており、公共のページでは、各生徒がニュースコメント発表資料や小論文、課題探究資料、振り返りシート、年間の振り返りといった成果物が掲載される。

③ 意見回答フォームによる意見の一覧

各授業では、2～3回ほど、答えが1つとならない問いを生徒に投げかけ、思考を促している。その際、各生徒は、資料2にあるとおり、Microsoft Teams 上にアップされた1つの Excel ファイル（意見回答フォーム）に意見及び根拠を入力（共同編集）する。その結果、意見回答フォームには、クラスの生徒約40名分の意見・根拠が入力されるため、各生徒はクラスメイトの意見・根拠を一覧することが可能となる。その上で、教員は、なるべく方向性

の異なる意見を複数紹介する。

こうすることで、生徒は「意見が異なる人がいるのは当たり前」というのが当然の感覚となるとともに、少しずつ複眼的な視点を持てるようになっていく。また、口頭で話し合うだけでなく、文章でも入力することで、文章表現力及び論理的思考力の向上に資する。

意見回答フォームの作成方法について、詳細は省くが次のとおりである。まずはクラス・生徒名・出席番号の情報が入ったシートを作成する。それとは別のシートには40人分の意見を入力できる枠をつくり、VLOOKUP 関数を用いて出席番号に対応した氏名が表示されるように設定する。もし、意見が2択となるような場合は、意見の数を集計できるように COUNTIF 関数を用いた枠を用意する。

資料2 意見回答フォームの例（生徒氏名は削除済み）

④ 各授業・各単元の振り返り記入

当該年度の公共は、原則として資料3にあるような構成で進行し、授業の最後には「本時の振り返り記入」の時間を設けている。

所要時間	活動
9分	挨拶 ニュースコメント
35分	本時で扱う授業 (講義や生徒の活動)
6分	本時の振り返り記入

資料3 公共の基本的な授業構成

本時の振り返りでは「授業の中で得た、最も重要だと感じた学びや意見」を記入させ、単元の最後には単元の振り返りを記入させた上で、振り返りシートの提出を求めている。

このように数行単位の文章を記入する際は、紙よりも PC の方が速く進められる。また、Microsoft Teams 上の「課題」機能を活用して回収・返却を行うことで、教員のフィードバックコメントの入力迅速化、返却漏れといった事故防止にも寄与する。

(3) 授業スライド作成上の留意点

上記取組のうち、特に授業スライドの作成は、目

新しい取組ではないと思うが、スライドの作成には相応の労力・時間を割かなければならず、気軽には実践しにくいと感じる。一方で、前述のとおり、スライド作成のメリットは大きく、また、その他 ICT 活用の導入となるため意義は大きい。特に、紙資料の補助的なスライドではなく、それ単独で完結できるスライドはより一層メリットが大きい。

については、紙面を多少割くが、以下にスライド作成に踏み切る上で留意した方が良いと思われる点を記す。なお、以下は、あくまでスライド資料で授業を完結させる場合を想定している。

① 同一科目を複数年度経験してからの方が良い

多くの教員にとって、1つの科目についての初年度及び2年度目は、教科書の内容を自分なりに消化した上でどのような問いを生徒に投げかけ、どのようなメッセージ(学び)を生徒に示すかということを組み立てるだけで授業準備は手一杯になるのではないかと察する。少なくとも私はそうであった。そのような中で、初年度や2年度目からスライド資料で展開しようとする、スライド資料の作成に注力してしまい、内容を深めることに時間が割けなくなってしまう。これは本末転倒なので、まずは内容について、ある程度の伝えたい内容が自分なりに整理できるようになってから、スライド作成に移行するのがスムーズかと考える。

② 前年度のなるべく早期から作成に着手すべき

スライド作成にはどうしても時間を要してしまう。要する時間は人によって大きく変わると思うが、特にスライド初年度は時間を要する。そう考えると、新年度の開始以降、授業進度に合わせてスライドを作成するというのは、私の能力では厳しかった。ただ、私の場合は、前年度の1月頃から少しずつ作成を進め、年度が開始する頃には全体の1/3程度は作成を終えていたので、何とか年間通じて乗り越えることができたと感じる。生徒がいる手前、年度途中でスライド作成を挫折するのは望ましい結果でないため、早期の着手を推奨する。

③ 作成前にデザインの基本を学んだ方が良い

よく、「デザインは本題と関係ない」と軽視する声を耳にするが、最低限は押さえておいた方が良いと感じる。なぜなら、資料作成の時間を短縮できるからである。デザインの基本を学ばずにスライドを作成すると、見やすい資料への試行錯誤に非常に時間がかかる。加えて、見栄えが多少なりとも良い方が生徒にも効率よく情報が伝わる。これは授業者とし

て大きなメリットである。様々な書籍・ウェブサイトにて情報が掲載されているが、私は高橋佑磨、片山なつ著『伝わるデザインの基本 増補改訂3版 よい資料を作るためのレイアウトのルール』(技術評論社、2021年)等を参考にさせてもらった。

(4) デジタルコンテンツの活用

スライドを作成する上で、教科書掲載の基本事項や、図表を掲示することは当然重要であるが、その際に1から作り始めるよりは、教科書会社が販売していたり、各種機関(金融庁等)が提供したりしている授業スライド例を参考とし、活用できる部分は活用するというスタンスの方が作業は効率化すると感じる。

3. 時事の扱い方について

(1) ニュースコメント

資料3に示したとおり、公共の毎授業の冒頭で、ニュースコメントという取組を行っている。これは、その日の担当生徒が、ニュースに関連して、事前に作成してきたスライド資料をもとに発表するという取組である。発表する内容は以下の2点である。

- ① 自身が関心を持ったニュースの概要。必要に応じて、背景知識も説明する。
- ② ニュースに対する自らの意見。意見は、問い→意見→根拠→事例の構成で述べる。

担当生徒の発表後、ペアの生徒同士で発表者が設定した問いに対する互いの意見を述べ合い、教員がニュースに対しての補足・解説を行なって終了となる。

年度冒頭は、まず4～5人の班をつくり、1授業1人の生徒が班内のクラスメイトに対して発表する。この方式で一通り全生徒が発表を終えた後は、1回目の発表で得た反省を踏まえて、1授業1人の生徒が黒板の前に立ち、クラス全体に向けて2回目の発表をする。2回目の発表を全生徒が終える頃には、年度末に近い時期となるため、そこでニュースコメントは終了する。

生徒が選択するニュースの分野は様々であり、教員が分野を指定せずとも自然と多様なニュースに触れることができる。副次的効果として、生徒の発表を受けて、教員が補足・解説する必要があるため、自然と普段目にするニュースもニュースコメントでのアウトプットを意識する。このため、教員の時事への理解・思考が深まる。

(2) 本時の授業内容の中で扱う

① タイトルとして位置付ける

当該年度の公共の年間スケジュールを資料4に示す。各授業には授業タイトルを設けている。これはいわゆる「導入の問い」に値する場合が多く、授業タイトルを示すことで生徒の関心が多少なりとも高まることを理想としている。その点、時事をタイトルに位置付けることは、生徒が実際の問題と捉え関心が高まりやすく、有効と考えている。

例えば、国際政治や平和主義といった単元は、比較的生徒が関心を抱きにくい単元という印象だったが、「ロシアのウクライナ侵攻」を題材に当該単元を扱ったところ、生徒は非常に関心高く授業を受けていた。このことは、教科書の知識及び時事双方の理解にとってプラスである。

② 事例として位置付ける

授業内で説明する内容の事例として時事を活用することで、授業内容の説得力が増すとともに、生徒の関心も高まりやすい。

例えば、「円安は輸出にとって好影響」と理屈で説明するだけよりも、資料5のように「トヨタは円安の影響もあり最高益の見通し」という事例まで紹介した方が説得力は増すだろう。

(3) 時事を扱う頻度を高めるために

教職に就いてから、できる限り時事と関連付けて授業を進行したいと考えてきたが、最初はなかなか上手くいかず、年度を経るごとに徐々に時事を扱う場面が増えていった。

いま振り返ると、時事を扱う頻度が高まった理由として、日々の授業等による経験というのは当然大きいですが、以下の点も大きいと感じる。

1点目は、年度はじめに年間スケジュールを、各授業で伝えたいメッセージとともに組み立てることである。各授業で伝えるメッセージが大体決まると、普段何気なくニュースを見ている、授業との関連を思い立ちやすくなる。

2点目は、授業スライドの作成である。以前は、ニュースを見た際に「これは授業で使える」と感じても、時間とともに忘れてしまい、結局授業で使わないということが多々あった。しかし、スライドを作成するようになってからは、思いついた時点で1枚分のスライドをひとまず作成し、該当の授業回スライドに差し込んでおけば、数ヶ月後の授業だとしても、後々忘れることなく授業で使用できるようになった。

回	授業タイトル・単元を貫く問い
1	オリエンテーション
2	いまの私は、大人？子ども？
3	なぜテスト前に「ノー勉強」を自慢してしまうの？
4	将来私は何の職業に就くのだろう？
5	「自由意志」って存在するの？
6	教科書に載っていることは絶対に正しい？
7	1人の命と5人の命、どっちが大切？
8	楽しければそれでいい？
9	東工大の女子枠設置って正しい判断なの？
	ロシアのウクライナ侵攻から、日本は何を学ぶことができるのか。
10	なぜロシアはウクライナに侵攻したの？
11	なぜプーチン大統領は裁判所で裁かれない？
12	なぜ国連はロシアを鎮圧できない？
13	なぜロシアは核保有を許されているの？
14	9条に書いてある内容ってホント？
15	アメリカって日本をホントに守ってくれるの？
16	日本はいまどのような脅威を抱えているの？
	日本は、死刑制度を廃止すべきか。
17	犯罪ってなぜ生まれるの？
18	刑罰って何のためにあるの？
19～20	小論文を書いてみよう！
21	小論文を添削しよう！
	どうすれば国民の意思を政治に反映させることができるのか。
22	同性婚は認めるべき？
23	名古屋城はエレベーターを設置すべき？
24	国会議員の給料は上げるべき？下げるべき？
25	総理大臣も選挙で決めた方がいいんじゃない？
26	あなたは選挙にいきますか？
27	「資本主義」と「社会主義」って何？
	日本は、高等教育を無償化すべきか。
28	日本の大学って安い？高い？
29	無償化で大学への入学希望者数は増えるの？
30	無償化は経済にプラス？
31	無償化は日本の財政にどう影響する？
32	無償化を実現するために税制をどう変えるべき？
33	反論してみよう！
	将来、働き方や暮らしはどのように変わっていくのか。
34	将来働きたい企業は日本型？米国型？
35	日本人ってなぜそんなに長く働くの？
36	日本はなぜジェンダーギャップが大きい？
37	少子化はなぜ止まらない？
38	あなたは将来何歳まで生きられる？
39	日本の医療費をどう抑える？
40	将来本当に年金ってもらえるの？
	将来どのようにして資産を形成していくべきか。
41	「株を買う」ってどういうこと？
42	金利ってなぜ上下するの？
43	円安・円高ってどういうこと？
44	どの金融商品を買えばいいの？
45	強みを伸ばすべき？弱みをなくすべき？
46～47	公共年間総集編～ベストオブ私の学び～
48～	課題探究

資料4 公共の年間スケジュール

トヨタは円安の影響もあり過去最高益の見通し

トヨタ自動車は、
2024年3月期の連結業績予想を上方修正し、
営業利益を従来の3兆円から4兆5000億円に引き上げた。
円安が1兆1800億円押し上げるなどし、
もともと最高益の見通しがさらに上振れる。(2023年11月 ロイター通信)

資料5 事例として時事を扱うスライド例